

木の総合文化（ウッドレガシー）

議員連盟第1回総会

テーマ：「日本建築伝統儀式について」

平成29年6月27日

宮大工古式伝統保存会会長  
株式会社番匠 取締役会長  
田子 和則

◆日本建築伝統儀式

今回から日本建築伝統儀式として、お話をさせていただきます。

平成元年に、五代目棟梁（父光一郎）から六代目を襲名させて頂いた時に、上棟式の祝詞と式典の祝い道具の造り方、そして式典の内容と進行の順序などを詳しく教えて頂きました。これは棟梁になる大事な心得の一つで、施主様にとっては、社寺は数百年に一回、家（住宅）は一生に一度、あるかないかの大切な記念になる行事であり、しっかりと内容を理解して儀式を執り行うことができるように習得し、心のこもった式典が出来なければならぬ。しっかりと勉強して精進しなさいと言われました。

人間も儀式で始まり、儀式で終わる。建築も儀式で始まり、儀式で完成する。海開き・山開き、オリンピックもパラリンピックも、相撲も、儀式から始まり儀式で納まる。私は儀式の重要性を認識し、「宮大工古式伝統保存会」を設立して、有志と共に研究・勉強しております。

地鎮祭は、寺院の場合は住職さ



通算 第15回  
未来に伝えたい  
日本建築伝統儀式

田子規矩法大和流六代目 棟梁 田子 和則

んにして頂き、神事の場合は宮司

さんをお願いして執り行っております。仏事・神事のいずれに致しまして、大局をお話したいとしますと、「日本国民が天皇を中心にして、国民が健康で幸福な暮らしができますように。大きな災難、被害が起きないように。そして日本人の主食である米をはじめ五穀豊穡でありますように。まず神様をお祀りして、儀式にてお願いします。」と私がお世話になっております。多賀神社の河村宮司さんのお話の結論でありました。そのような考えから、二千年前に出来たのが神宮だとされています。

◆神宮（伊勢神宮）

伊勢の神宮（正式には「伊勢神宮」ではなく「神宮」、御祭神は皇祖神であります。

天照大御神をお祀り申し上げる皇大神宮「内宮」と、「衣・食・住」といった生活に深い御神恩のあります、豊受大御神をお祀り申し上げる豊受大神宮「外宮」の両宮に、別宮、摂社、末社、所管社から合わせた125社からなるそう

です。

◆式年遷宮

天照大御神が伊勢に御鎮座されましたのは、今から二千年の昔。以来、皇室を中心として、広く国民の信仰を集めて、今日に至っております。

神宮では、今から千三百年前の持統天皇4年（西暦690年）より、二十年ごとに、社殿や御装束・御神宝の一切を、新しく造り替えて来ましたが、これを式年遷宮といえます。このお祭りは、大御神様の高き尊き御神恩が、益々豊かになることを祈り、その御神恩をいただいて、国の若返りと永遠の発展を願う大切な祭りだそうです。このような資料を頂戴して、我々の祖神の信仰と祭事の大切さを、改めて知った次第です。

◆式年遷宮のお祭りと行事

平成17年に式年遷宮の最初に執り行われる祭儀「山口祭」からはじまり、平成25年の「御神楽」まで、32回ほどの祭事があります。皆さんにもわかりやすいよう、主だった祭儀を幾つか紹介いたします。



神宮 (内宮)

新宮を建てる新御敷地で執り行われる最初の祭儀で、御造営作業の安全を祈り、新宮の大宮地に坐す神を祭ります。

平成24年

・立柱祭 (りつちゆうさい)

正殿の建築の初めに際し、御柱を立て奉る祭りで。

・上棟祭 (じようとうさい)

正殿の棟木を上げる祭儀です。

・莞祭 (いらかさい)

新殿の御屋根の葺き納めの祭儀です。

平成25年

・洗清 (あらいきよめ)

新殿竣工にあたり、殿内を洗い清めます。

・後鎮祭 (ごちんさい)

新殿の竣工に際し、大宮地の平安を祈ります。

・御飾 (おかざり)

遷御当日、殿内を装飾して、遷御の準備をします。

・遷御 (せんぎよ)

・大御饗 (おおみけ)

・奉幣 (ほうへい)

・古物渡 (こもつわたし)

・御神楽御饗 (みかぐらみけ)

・御神楽 (みかぐら)

天皇陛下の遷御の後、神宮に宮

中の薬師を差し遣わされ、御神楽および秘曲をご奉納になります。

### ◆ 建築の伝統儀式

今思うに、社寺建築では、現在も儀式を大切にしておりませんが、最近の住宅(家)造りにおいて、地鎮祭は大半の方々が執り行っておられますが、上棟式、新築祝は、半数近くが行っていないのではないのでしょうか。これはなぜかと考えてみました。

家を建てる方のお考えが、変わってきたのでしょうか。土地から探す人、新しく建て替える方と様々ですが、我々の子供のころは、あそこの家の上棟式は何日の何時頃、というようにご近所にならぬ、子供たちが集まり、お餅やお金を拾いに来ておりました。

このような情景を、ご年配の方々なら経験があたりだと思えます。つい最近までは、上棟式には家族は勿論のこと、親戚・ご近所の方々も、皆さんで家が出るのを祝い、工事請負業者の方々は、完成まで工事を安全に執り行うことを誓い、棟に祭壇を設けて祀り、棟梁が祝詞を読み上げ、安全祈願と建

てる家に火災や災難が及ばないよう、お施主様の家系が長く久しく安らかに栄えますようにと、ご祈願申し上げ、皆さんで祝ってました。これからもう一度、家づくりのお考えを、お施主様と業者も考え直す時期が来たように思います。

最近では地震による倒壊や、津波や大雨で家が押し流され、突風や竜巻で家が巻き込まれて倒壊したり、また、大雪で押し潰されたり。この十年こんなことばかりで、何かがおかしくなっているような気がいたします。何か大切なものを忘れてるように思えてなりません。

まずは、建築の儀式について、住宅の地鎮祭から共に考えていきましょう。地鎮祭・上棟式・落慶式の考え方、家の仏壇・神棚の位置などの基礎的な考え方等について説明して参りたいと思います。



清水寺三重塔落慶法要 (昭和62年)

・鎮地祭 (ちんちさい)  
平成20年  
御用材を両宮に曳き入れる盛大な行事。期間中、伊勢の街は勇壮な掛け声と木造音頭で包まれます。

・御木曳行事 (おきひきぎょうじ) (第二次)  
平成19年  
安全を祈り行われる祭儀です。

・木造始祭 (こづくりはじめさい)  
平成18年  
新宮の御床下に、心御柱の御用材を伐採するにつき、御木の木本に坐す神を祭ります。

◆棟梁が行う実際の  
上棟式（一般住宅）

田子家歴代の棟梁に伝わる上棟式ですので、地方により、また伝授して頂く棟梁により、目的は一緒でも多少式典の順序ややり方は異なりますことを最初にお断りいたしておきます。

まずは田子家に伝わる上棟式の式次第に則り、ご説明申し上げます。

1. 身曾貴大祓

まずは祭壇の脇上に仮棟を設け、棟木の中心を白紙で巻き、前回説明いたしましたように、棟縛りを三幣に順次三ヶ所、麻で結びつけます。そして三幣の祭神は、真ん中に『天八意思兼命（あめのやごころおもいかねのみこと）』、右に『手置帆負命（たおきほういのみこと）』、左に『彦狭知命（ひこさちのみこと）』、そしてこの外に『三玉女星神（さんぎよくじよせいじん）』を祀ります。三幣の前に祭壇及び机を設け、三幣の右に棟打ちの槌を置き、左に指金・墨つぼを置く。そして神饌物は、塩・米・水・酒・昆布・魚・野菜・



通算 第20回  
未来に伝えたい  
日本建築伝統儀式

田子式規矩法大和流六代目 棟梁 田子 和則

季節の果物・鏡餅などで、鏡餅は本式に備えると三重に作るのが本来ですが、最近では略式で二重ねにしています。他に三才餅・五行餅・七曜餅等がありますが、最近では省略します。投げ餅、投げ銭は感謝の意を込め祭壇机に奉納した上で、棟梁がお酒・お水の蓋を取り棟縛り三か所に塩・米・水・酒を供え身曾貴大祓を奏上します。



身曾貴大祓（みそぎおおはらい）

2. 四方固めの儀

祭壇に奉納してある、唐櫃（切麻散米）と振幣束（大麻）により、棟梁と脇棟梁が協力して四方を固めます。最初に棟梁が切麻散米をした後に、脇棟梁から振幣束を受け取り、棟梁が大きく「水」

という字を書くように振幣束を振り、四隅に対して祓い言葉「一切成就 祓 給 清 給」と唱えて固める、棟梁ならではの儀式であります。



四方固めの儀（切麻散米）

3. 祝詞奏上

第18回の中でお話申し上げた通り、田子家代々の棟梁から伝承された祝詞を五代目棟梁が直筆で書き、私が六代目を継ぐときの儀式の中のひとつとしてその祝詞を頂き、上棟式棟梁として齋主を務める心構えを厳しく伝えて頂きました。お陰様で、お施主様からは古式に則った儀式を有難うございました」と、お礼を頂きます。五代目棟梁（父）から伝授頂いたことを、しみじみと感謝いたしております。

上棟式の齋主を務めます時は、

上棟を迎えたお施主様の家が永く  
久しく、安らげくおほやかに栄え  
ますように、心を込め奏上させて  
いただきます。



祝詞奏上

### 3. 植打ちの儀 (棟堅め)

植打ちの儀は棟梁が声高らかに掛け声をかけて、脇棟梁が「應」と応え、小声で「土金」と唱え一つ打つ、これを三つ打つのが通常の植打ちの儀です。  
私はこの植打ちの儀と合わせ、棟梁の寿ぎ唄を奉納してから運動して植打ちの儀に入ります。

〈宮大工の寿ぎ唄〉  
「千木直ぐに、  
鯉木直ぐに打つ、  
この植は  
永遠に寿ぐ常盤堅盤に」

と扇子をかざし唄いを入れま  
す。そのあとに運動して植打の  
儀を行います。

〈一般的な掛け声〉

- 一の植 「千歳楽」
- 二の植 「万歳楽」
- 三の植 「永遠とつ」

〈田子流(唄いの後)〉

- 一の植 「寿命長運とつ」
- 二の植 「福徳円満自在とつ」
- 三の植 「天長持久とつ」

と唱えます。これは地方の棟  
梁により異なります。



寿(ことほ)ぎ唄



植打ちの儀

### 4. 散餅・散銭の儀

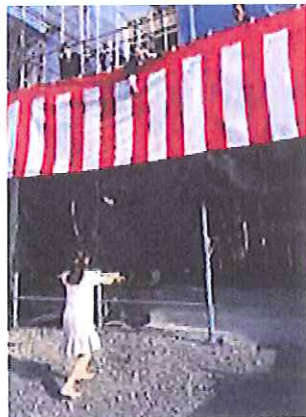
散餅も地方によってお餅の形が  
違います。私は群馬の前橋出身で  
すが四角の切り餅で、祭壇への供  
え餅は別に三才餅、五行餅、七曜  
餅とするのが本式ですが、最近の  
住宅上棟の場合は略式で、供え餅  
は二段重ね、撒き餅は切り餅を三  
枚重ねて薬で縛っており、それを  
投げます。また東京・関西などは  
丸餅を投げます。

最初に三幣の祭神に納めた、三  
組のおもちを施主の奥様に箕で受  
けて頂きます。

これは奥様が留守をしつかりと  
守り、火事にしないようにという  
意味です。

〈棟梁の投げ餅唱え言葉〉

「水におぼれず 火にやけず  
七難そく滅し給うと申す」



散餅(なげもち)

棟梁が唱えて箕に一つ一つ投げ  
入れます。

### 5. 散銭の儀

これは5円硬貨を半紙でおひね  
りにして、たくさん作り、投げま  
す。皆様のご協力のお陰様で家  
を建てることができました。あり  
がとう御座います。と感謝の気持  
ちで棟梁の唱え言葉の後、棟梁と  
登壇しております皆さんで一斉に  
お餅と一緒に投げます。最近はお  
子様にも喜ばれるスナック菓子も投  
げるようです。

〈棟梁の投げ銭感謝の唱え言葉〉

「金銭 銀銭  
まこうど まこうど  
なを利徳 聞こえけん」

散餅・散銭の儀が終了致します  
と、上棟式がすべて終了し、直会  
となります。



散餅(なげもち)



1987年10月清水寺三重塔落慶法要  
中央の赤礼服が本人

# 三重塔落慶法要

# 清水寺



遠く明治を迎えるまでの神仏混交の時代に遡りまして、只今より田子和則宮大工から地主神社 中川平宮司に御挨拶申し上げます。

(西門の前で挨拶をかわし、宮大工全員の寿き唄が唄われる。)

宮大工田子／祝い手締め、いよーっ(宮大工による手締め)

宮大工田子／おめでどうございます。宮大工全員／おめでどうございます。

大塚／天上から散華が舞っております中を皆様ご起立の上、合掌をお願い致します。

―御着席を願います。華々しく、そして力強い手締めの後、只今の惣札をもちまして、三重塔における落慶法要をお開きとさせていただきます。この後本堂での落慶法要に移らせて頂きますので、法要

御参列の来賓の方々は役員の案内によりまして本堂にお進みを願います。

(来賓の方々が本堂へと移る。)

只今から西国三十三所観音霊場山主祝下をはじめ、御縁歌隊の皆様、宮大工の皆様が本堂に向けてすすまれ、おねりが始まりです。恐入りますが、本堂までの通路をお開け下さいます様お願い申し上げます。

御参列の皆様、長時間にわたりまして大変ありがとうございました。このおねりが出発しました後、どうぞ内陣の様子などごゆっくり御覧頂けます。

尚、回廊の上の方に上ります事は許可されておりますので、この岩組の周囲の所をお回り頂きますして、参観をお願い申し上げます。

申し上げます。



本堂にて――

大塚／西国三十三霊場山主祝下をはじめ、当山関係者が着座されました所で、

只今から三重塔落慶奉告法要を助修致します。大導師は当山貫主・松本大圓祝下でございます。恐入りますが御一同様、

御起立の上、合掌をお願い致します。(全員合掌)御着席願います。(法要が始まる。)

只今から西国三十三所札所会会長 石光山石山寺山主鷲尾隆輝祝下大導師により、西国三十三所花山法皇中興一千年記念総供養を助修致します。経頭は紀三井山金剛宝寺山主 前田孝道祝下でございます。

御一同様、御起立の上合掌を願います。有難うございました。御着席願います。

御一同様、御起立の上合掌を願います。

有難うございました。御着席願います。

park in each commission district.  
 In December 1991, the commission adopted it as the "official park plan of Jef-

said.  
 "When we started, the plan was great," she said. "But we have no way to fund it

advertisers pay the public board a small fee for the county support existing parks instead  
 See Parks, Page 2D

Source: Jefferson



NEWS STAFF PHOTO/STEVE LARREY 'C'

Artisan Kazunori Tago performs traditional ceremony which is supposed to ensure success of teahouse project

# Laying down the dragon

## Work starts on new Japanese teahouse at Botanical Gardens

By Roy Williams  
 News Staff Writer

Birmingham residents soon may experience a touch of the Orient whenever they like, without traveling to the Far East.

A traditional Japanese ceremony was held at the Birmingham Botanical Gardens Thursday to mark the groundbreaking for the garden's new Japanese teahouse and cultural center.

The \$385,000 facility is funded by the City of Birmingham and a grant from the Commemorative Association for the Japan World Exposition. It is expected to be completed this fall.

Kazunori Tago, who designed the teahouse, presided over a 40-minute ceremony at the site.

The ceremony to "lay down the dragon," called a *fukuryushiki*, is a tradition in Japan conducted at the start of construction projects. Participants

pray for a calm construction period and a successful completion.

The Japanese philosophy behind the centuries-old ceremony is that dragons sleep in the ground and when disturbed could create havoc and destroy the facility. Since construction disturbs the ground, the *fukuryushiki* ceremony is designed to calm the dragons so they will not hinder the project and to protect the completed building.

During the ceremony, designer Tago and three Japanese assistants, accompanied by a drummer, chanted prayers in an effort to drive away evil spirits.

Birmingham Mayor Richard Arrington and representatives from the Botanical Gardens, the Japanese Consul in Atlanta and Alabama Development Office participated in the ceremony.

At a news conference before the ceremony, Arrington and City Council members Linda Coleman and Eddie Blankenship noted that Birmingham

has enjoyed a good relationship with Japan for several years through its sister city, Hitachi. "With the addition of the teahouse, we're not only sharing culture, but sharing education," Mrs. Coleman said.

The teahouse will be in a new Japanese Cultural Center in the Japanese Gardens section of the park.

In addition to the teahouse, a 200-square-foot facility that will include a tea room and wedding area, Tago will construct a 1,000-square-foot pavilion.

"I am pleased that the City of Birmingham is involved in a culturally enriching project of this magnitude," Arrington said. "We are committed to doing what we can to ensure the success of this venture."

"It's a project we hope will help build a strong bond between the people of Japan and Birmingham."



and other medical with any Hawkins is asked to file at 934-5603.

— Steve Joynt

**'s critical**

man A. G. Gaston's was unchanged named in critical at a Birmingham he turned 101 on day with out midnight stopped beating suscitated. Gaston, n the drive for blacks, built an empire despite of slaves.

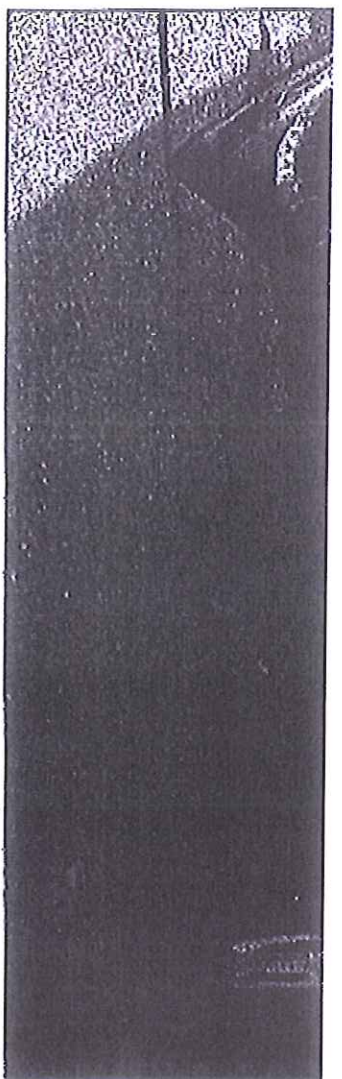
eral Educational if be administered at s Bob Graves Hall at 3 sitting fee is \$25. For next GED testing at.

EST — The largest city labeater, which has a 5,000. Alabaster got rith near a large cost. Calum 1. White, transluent rnered to as abbeater. hat official in the . am Folsom served Gov. George at in tomorrow's

One foreen ly having difficulty es of Guy Hunt's legal at the governor had xing money to buy t actually conducted s convicted of a felony rding buying cover for 200 donated to a tax- d to pay expenses nauration.

porch every day." Mrs. LeNard, however, was not surprised. She said trouble has been brewing in the Willis household for several months, since Mrs. Willis broke her hip. She and Ms. DeLoach said Willis has a drinking problem that has escalated recently. Mrs. LeNard said Mrs. McGriff, who lives in Chicago, came to Birmingham to take care of her mother. Willis' behavior has grown increasingly erratic. Police have been called several times, she said.

Mrs. LeNard said Mrs. McGriff asked police several times to get help for Willis but was told that he had not hurt anyone. Mrs. McGriff refused to comment when reached by telephone yesterday afternoon. After the standoff ended, Mrs. LeNard said, "We are relieved that nobody got hurt. ... It's quite a sad situation."



A Birmingham police officer takes a break during yesterday's standoff with a West End man.

# Japanese Cultural Center's designer exorcises dragons

By Seth Blomley  
Post-Herald Reporter

Birmingham Mayor Richard Arrington announced plans yesterday for a new Japanese Cultural Center at the Botanical Gardens. But before any groundbreaking could take place, the project designer had to eliminate the dragons.

Designer Kazumari Tago led "Fukuryu-shiki," or "the ceremony to lay down the dragon," to ensure a calm construction of the Japanese teahouse and pavilion.

Both make up the \$385,000 project funded by the city of Birmingham and a tentative grant from the Commemorative Association for the Japan World Exposition.

"This is a renewal for the whole Japanese Garden," said Gary Gerlach, director of the Botanical Gardens, located on Cahaba Road. "This is an honest and dedicated teahouse. It has a more private atmosphere."

It offers the perfect atmosphere for cultural sharing between Alabamians and Japanese, said Marjorie Dewey, an interpreter for Tago.

Tago led the Fukuryushiki ceremony in blistering hot temperatures in an open grassy area in the Japanese Garden.

"This is the first time I've performed the ceremony when it's been this hot," said Tago

through his interpreter. "But it came from the heart, so it didn't feel bad. It's Japanese tradition that you can't give in to the heat."

The sun also came down hard on Arrington, dressed in a dark coat and tie. "I expect temperatures were about 100. I could feel it right up there," Arrington said as he pointed to his bald spot.

Tago will build the new addition in Japan where it will be dismantled and transported to Birmingham.

He said the ceremony he performed in Birmingham yesterday was his first outside of Japan.

"A couple of years ago in Atlanta, I met Doug Moore, the director of the (Japanese) gardens," Tago said. "What really convinced me to do it (build the teahouse) was how he wanted it done right. He persuaded me to build the best possible teahouse."

The ceremony included the laying of a symbolic cornerstone and a pillar, which represents the first pillar of the teahouse. On the pillar, a bow and arrow faces north, the direction from whence Tago said evil spirits usually come.

"We want the whole area to be as pure as the heavens and as clear as the stars," Tago said.



Kelta Boyer/Post-Herald places a shimenawa on a pillar erected during the Fukuryushiki Ceremony at the Japanese Garden in the Botanical Gardens.

# Bachus, Hilliard votes cite

By Thomas Hargrove  
Post-Herald Washington Bureau

WASHINGTON — One Alabama US representative has endorsed legislation would cost taxpayers \$542 billion, while other supports bills that would reduce total spending by \$16 billion.

Both men represent the Birmingham area. A study of the cost of major cost-storal legislation released by the National Taxpayers Union yesterday found the publican Rep. Spencer Bachus and I cratic Rep. Earl Hilliard are, at opposite ends of the spending spectrum.

Hilliard ranked 11th-highest out of the members of the House in terms of the cost the bills that he has co-sponsored. By far most expensive was his endorsement of Universal Health Care Act to provide coverage for all Americans under a federal created insurance program costing an estimated \$506 billion.

"If that one item is removed, then I probably would be 11th from the bottom, says Hilliard said yesterday. Please turn to VOTERS, page D3.